

本校の特別支援部では、児童・生徒が、地域でより豊かな生活を送るために、地域の関係施設や学校との連携、地域の特別支援教育の充実や推進等の活動に取り組んでいます。

この「むらやまだより」では、児童・生徒の皆さんが充実した地域生活を送るために役立つ情報や取組について紹介しています。今回は、「学校生活支援シート」について御紹介します。

学校生活支援シートについて



学校生活支援シートは、特別な支援や配慮を必要とする児童・生徒に対し、学校や家庭、医療、福祉などの関係機関が連携し、一貫した支援を行うための引き継ぎ資料となります。全ての学校に在籍する、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して毎年作成し、完成後は保護者の方に活用・保管していただきます。

5月の個人面談等で、保護者の方に内容を確認させていただき作成した学校生活支援シートは、6月末に配布させていただきます。このシートが果たす役割や、活用・保管の方法について、以下に御紹介します。

1 学校生活支援シートとは（3つの役割）

① 連携する

保護者、教育、保健・医療、福祉等が連携し、児童・生徒を支援していく継続的な計画であり、児童・生徒を中心に、保護者や関係機関がそれぞれの役割分担を確かめ、必要となる支援を行っていくためのものです。

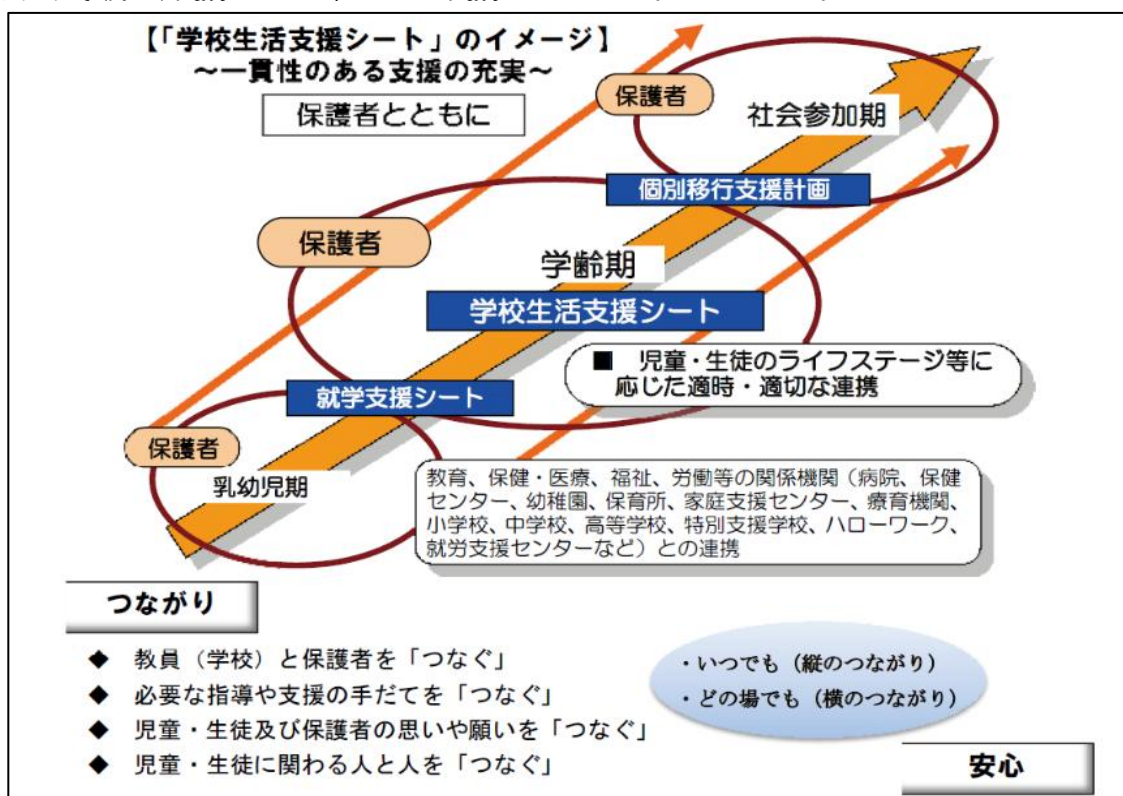
② 共有する

教育、保健・医療、福祉等がこれまで行ってきた支援の情報を共有し、支援内容を整理するとともに、支援に関する必要な情報を記載し、乳幼児期から学校卒業後まで一貫性のある支援を行っていくためのものです。

③ 引き継ぐ

指導や支援の成果、児童・生徒の変化、有効であった支援等を保護者と確認し、進級・進学時や転入学時に、新しい担当者に確実に引き継ぐためのものです。

以下の図は、学校生活支援シートを中心とした支援のつながりを示したものです。



（参考：東京都教育委員会（平成28年3月）「つながり」と「安心」保護者とともに作る個別的教育支援計画）

2 活用と保管方法について

学校生活支援シートは、保護者の方に活用・保管していただきます。学校では、保護者の方に無断で他機関へ公開したり、提出したりすることはありません。

以下に、活用と保管方法の例を挙げますので、参考にいただき、是非、御活用ください。

○活用場面の例

下記のような場面で、お子様に関する質問があった際、学校生活支援シートを提示することで、スムーズに情報提供をすることができます。また、お子様に関わっている方と支援の目標や手だてを共通にしていくことで、お子様にとって過ごしやすい環境を整えていくこともできます。

- ・新しい福祉サービス事務所と契約するとき。
- ・リハビリ先や放課後等デイサービスで、学校の様子を聞かれたとき。
- ・新しい学校への進学や転学時の面談等で、お子様の様子についてお話するとき。
- ・新しい医療機関や相談センター等に相談するとき。

○保管方法の例

学校生活支援シートは、必要な時にすぐに取り出せるように、ファイルに入れて保管することをお勧めします。お子様が必要とする支援の情報をまとめたファイルが一冊あると便利です。ファイルには、学校生活支援シートの他、個別指導計画や医療機関等の記録などを入れておくとう活用しやすくなります。なお、ファイルの準備（購入費用）は各御家庭の負担となりますので、御了承ください。

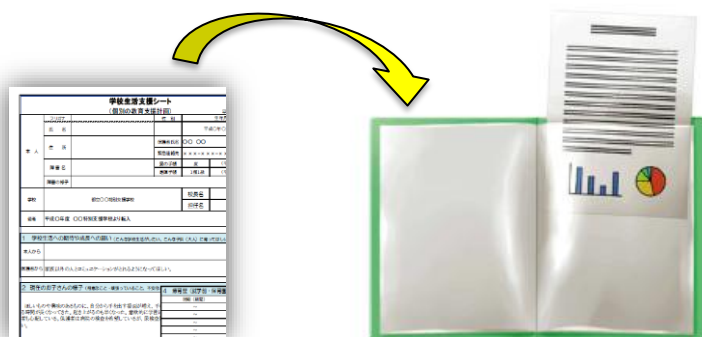
★ファイルに入れておくとい書類の例

- 学校生活支援シート（経年のもの・現在のもの）
- 個別指導計画
- 学習プリントの例
- 使用している教材の写真
- 摂食時の姿勢などの写真
- 具体的な支援方法・支援機器の情報
- 病院の検査等の記録
- 入院や通院の記録
- 薬剤情報提供書

区市町村によっては、福祉課等が同様のファイルを作成し、配布している場合があります。その時は、別途ファイルを作成するのではなく、既存のファイルを継続して活用してもよいでしょう。

本校学区である下記の市では、自治体独自の記入シートやクリアファイルを配布していますので、市役所にお問い合わせください。

市町名	ファイル名称	担当窓口
武蔵村山市	むさしむらやまマイファイル	健康福祉部障害福祉課認定審査係
昭島市	昭島市子育てサポートファイル	子ども家庭部こども家庭センター児童発達支援係
立川市	サポートファイル「たちサポ」	子ども家庭部児童発達支援センター発達支援係



ファイルは、
A4サイズの
クリアファイルが
便利です。



【担当変更のお知らせ】

今年度、特別支援教育コーディネーターは、阿久津 裕生（あくつ ひろお）主任教諭が担当します。
よろしくお願いいたします。

よろしくお願いします

